

ACM国際大学対抗プログラミングコンテスト東京大会 国内予選通過27チーム発表

ACM (Association for Computing Machinery、国際計算機学会、1947年設立、会員数一約8万人、本部ニューヨーク) が世界的に開催する ACM 国際大学対抗プログラミングコンテスト (ACM/ICPC) のアジア地区予選の一つである東京大会の出場権を賭けて、去る7月3日、国内予選がインターネット上で開催されました。制限時間3時間で6問出題され、出場チームは各所属大学において問題を解きました。この国内予選を通過したチームが東京大会に駒を進めることができます。今年は69大学281チームが参加し、下記の27チームが東京大会の出場権を得ましたので発表します。なお、優秀な成績を修めた上位2大学のチームはアジアで行われる他サイトの大会に派遣されます。

東京大会 (ホスト校-早稲田大学) は、11月7日～9日、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて、この国内予選通過27チームにアジア各国から参加する8チームを加えた35チームによって行われ、来年2月の世界大会出場権獲得を目指し、5時間に及ぶコンピュータプログラミングの熱戦を繰り広げることになります。

ACM/ICPC は、ACM が大学生を対象に1977年以来世界的規模で開催しており、同一大学の学生3人が1チームとなり、コンピュータプログラミングの正確さと速さを競うもので、世界中の大学生が自らのコンピュータの知識と技術のレベルの向上を図るとともに貴重な国際交流の経験を積むことを目的としています。今回は88カ国、1838大学の7,109チームが世界各地で開かれた地区予選に参加し、そのうち100チームがスウェーデン・ストックホルムで開かれた世界大会で世界一の座を競い、St. Petersburg University of IT, Mechanics and Optics (ロシア) が2年連続で優勝しました。次の世界大会は来年2月に中国ハルビン市で開催の予定です。

日本では、1998年以来、各大学がホスト校となり、地区予選を毎年開催し、今回で12回目となります。アナウンス、オリエンテーション、表彰、レセプション等すべてが英語で行われる、情報科学の分野では数少ない大学生 (高専4・5年生も含む) を対象とした国際大会です。制限時間5時間で8問出題され、使用言語は C、C++、Java のいずれかです。詳細につきましては、ACM/ICPC 2009東京大会ホームページをご覧ください。また、当日は Web 中継を行います。

■ 国内予選通過チーム名 (大学名)

Watch.d (会津大学)	-W (会津大学)
Imo = {imos,ao,eee} (大阪大学)	auto main ==277; (大阪電気通信大学)
Kyueue (九州大学)	#35 (京都大学)
d3sxp (京都大学)	HinagikuRhapsody (久留米工業高等専門学校)
TLEbusters (鈴鹿工業高等専門学校)	UNK (筑波大学)
tororo (津田塾大学)	YUDOFU (津山工業高等専門学校)
Spanking Boys (電気通信大学)	HABRush (東京工業大学)
40010 (東京工業大学)	HITORI# (東京大学)
_ry (東京大学)	MAGI System (東京大学)
SINONIS (東北大学)	y/y (東北大学)
BISCO (豊橋技術科学大学)	(:D)rz (広島大学)
NERV (三重大学)	Kaeru Mario (明治大学)
arguments.callee (立命館大学)	swap(day,night); (早稲田大学)
0x3f (早稲田大学)	

以上東京大会進出27チーム(学校名五十音順)

※アジア他サイト派遣予定チーム HITORI# (東京大学)、 Watch.d (会津大学)

◆ACM/ICPC 2009東京大会HP: <http://www.waseda.jp/assoc-icpc2009/jp/>

◆本件についてのお問合せ先: ACM日本支部事務局(東京都港区南青山5-12-27 ワイズビル)

Tel. 03-5766-3643 Fax. 03-5766-3642 E-mail: office@acm-japan.org